

Hi! from SAGA

Summer 2021 vol.8

SUISA ニュースレターチーム
& 佐賀大学国際交流推進センター



オリンピック聖火リレー in 佐賀

有名なオリンピックイベントの1つは、聖火リレーです。東京オリンピック 2020 の開催に先立ち佐賀県でも行われた聖火リレーの様子をお伝えします。



国際交流イベント

7月に一週間を通して毎日イベントが行われる「International Week」が開催され、SUISA メンバーもいくつかのイベントに参加をしました。現在佐賀大学で行われる国際交流イベントの様子をお伝えします。



留学生の就活 in Japan

SUISA のメンバーであるエルビン・レン・ジュンコウくんは日本で就職することを決めました。ユニークな日本の就活についてエルビンくんインタビューしてみました。



国際交流推進センターの新しいホームページ

佐賀大学国際交流推進センターのホームページは佐賀大学のホームページとともに最近リニューアルをしました。

佐賀大学国際交流推進センター

+81-952-28-8169



ryugaku@mail.admin.saga-u.ac.jp



<https://www.irdc.saga-u.ac.jp>



オリンピック聖火リレー in 佐賀

東京オリンピックは7月23日から8月8日まで開催されました。有名なオリンピックイベントの1つは、聖火リレーで、ギリシャで点灯したオリンピック聖火をリレー走者たちが引き継いでいきます。その後、2021年3月25日から2021年7月8日まで、各都道府県のトーチベアラーがその聖火を全国に伝えました。聖火の行き先は、東京の国立競技場の聖火台です。その後、聖火はオリンピック開催期間中の16日間燃え続けます。

聖火は5月9日に太良から唐津に、そして5月10日に基山から佐賀に私たちの佐賀の街を駆け抜けました。太良から唐津へのルートでは、佐賀大学リージョナルイノベーションセンターの三島舞さんが聖火リレー走者の一人としてイベントに参加しています。三島さんは学生時代からタイと日本の関係を推進しており、佐賀のタイ人やタイが大好きな人のネットワークである「サワディー佐賀」のメンバーでもあるため、佐賀大学のタイ人学生が会場に駆けつけて応援しました。テレビ放送局のNHKはイベントの様子を撮影するためにかけつけ、三島さんとタイの学生にインタビューを行いました。インタビューの様子は、以下のリンクから見る您可以通过。 (<https://movie-g.nhk.or.jp/sns/wVI/rjctv7mh.html>) 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当日は多くの対策が講じられました。例えば、観客は大声で叫んだり応援したりすることはできません。代わりに手をたたくことで応援をします。声援と比べると活気がないかもしれませんが、聖火リレーランナーにその気持ちが伝わった気がします。



聖火ランナーの三島 舞さん

また、トーチのデザインを担当した吉岡徳仁氏と佐賀の地元の方も走りました。トーチのデザインは、桜の花びらをモチーフにデザインされたものです。上から見ると、5枚の花びらから炎が出て、中央で合流し1つの炎になっているのがわかります。このトーチの製造技術は、新幹線と同じ技術です。とても素晴らしい技術ですね！

最後に、新型コロナウイルス感染拡大のため、私たちは自宅からオリンピックを観戦することを勧められています。しかし、新型コロナウイルスはオリンピックの楽しさとスポーツマンシップを私たちから奪うことはできません。オリンピックに引き続きパラリンピックでもすべての国を一緒に応援しましょう。

国際交流イベント

佐賀大学では、7月の第2週（12日～16日）に「International Week」という大きなイベントが開催され、週を通してさまざまなイベントが開催されました。日替わりで5種類のイベントがあり、今回「留学生ワークショップ」、「ムービーナイト」、「スカベンジャーハント」に参加しました。

留学生ワークショップ

会場に入るとすぐに、主催者の学生たちが「こんにちは…留学生ワークショップへようこそ」と歓迎の声で迎えてくれました。会場にはすでにたくさんの学生が集まっており、自己紹介をしている人もいれば、留学生とコミュニケーションを取りながら英語力を磨いている日本人学生もいました。時間になると、イベントは始まりました。



留学生による母国についてのプレゼンテーション

その日のイベントは、Erjon Krasniqi さん（コソボ出身）と Tuhin Atiqur Rahman さん（バングラデシュ出身）の出身国に関するプレゼンテーションから始まりました。彼らは、それぞれの出身国のスポーツ、食べ物、さらには「こんにちは」や「さようなら」などの簡単な挨拶など、それぞれの国についての多くの知識を紹介し、参加者に共有しました。また参加者からの質問や交流もあり、とても楽しいイベントでした。



留学生による母国についてのプレゼンテーション

彼らのプレゼンテーションの後は、アイスブレイクで交流の時間が設けられました。ヘッズアップゲームやジェスチャーゲームなど、さまざまな種類の推測ゲームを行いました。この時間もとても楽しくお互い交流することができました。このイベントではたくさんの知識を得ることができ、また楽しい時間を通して元気とやる気をもたらすことができました。

ムービーナイト

良い映画を見るのは、おいしい食事をするようなものであり、今日でも、最も人気のあるリラックスできるアクティビティの1つであるという事実を否定することはできません。映画館では映画を見ながら、しょっぱい歯ごたえのあるポップコーンを食べることはマストです。同様に、佐賀大学の「ムービーナイト」というイベントに参加しないという選択肢もありませんでした。たくさんの友達と一緒に映画を見に行くのでとてもワクワクしました。グループで映画を楽しむには、映画の種類が重要な役割を果たしていると言われています。今回は2018年に公開された「グリーンブック」というコメディ映画を鑑賞しました。映画を通して、私たちは友達と笑ったり、泣いたりして、その日のストレスをすべて解消しました。



ムービーナイト

映画鑑賞後、意見交換会があり、私たちはお気に入りの部分について話し合い、互いの感想を交換しました。とても楽しかったし、質の高い時間を一緒に共有しました。間違いなく、佐賀大学のムービーナイトは、私が今まで経験した中で最高の映画の夜の1つです。

スカベンジャーハント

ある有名な男子バスケットボールチームのコーチは、「効果的なチームワークはコミュニケーションで始まり、コミュニケーションで終わります (Effective teamwork begins and ends communication)」と言いました。一緒に活動することが、お互いを知るための最も楽しく有効的な方法の1つであることは否定できません。これは、佐賀大学のイベント「スカベンジャーハント」で証明されました。

参加者は5人ずつのグループに分けられました。イベントのミッションは隠された言葉を見つけることです。佐賀大学の地図とクイズが全員に渡されました。それぞれのクイズへの答えは、私たちが隠された言葉を見つけ出すための手がかりです。私たちはキャンパスを探索し、チームで協力をしながらクイズの答えを見つけ出しました。



ゲームを楽しむ学生

クイズは難しすぎず、簡単すぎないものでした。しかし、このイベントはキャンパスを知り、慣れるために役立つのではないかと思います。私は佐賀大学で2年近く勉強していますが、キャンパス内には存在すら知らなかった面白い場所がたくさんあることに気づきました。



参加者のグループ写真

一方で、このイベントは私たちの対人スキルなども向上させるのではないかと思います。イベントではクイズを解くための時間を管理する必要がありましたが、一方で、グループで団結してメンバーと協力することも不可欠です。クイズの解答探しと同時に、私たちは興味のあることや趣味を話しながら交流を深めました。また、ゲームの勝ち負けに関わらず、グループを超えて、お互いに助け合い楽しい時間を共に過ごしたとても幸せな一日でした。

留学生の就活 in Japan

SUISAのメンバーであるエルビン・レン・ジュンコウさんは日本で就職することを決めました。留学生として日本での就職活動がどのようなものだったのかを聞いてみました。

「日本で就職する理由は何ですか？」

その理由の一つは、日本の新卒の初任給がマレーシアの約3倍であるからです。また、新卒者を積極的に受け入れる国は日本だけではないにしても数少ない国のひとつです。ですから、私はすでに日本にいますので、この機会を利用して日本企業に入社してみようと思い就活を始めました。

「日本での就職のプロセスはどのようになっていますか？」

大学で、教員からの紹介で「マイナビ」という求人サイトに登録しました。そこから、その年に採用している企業の全リストを見ることが

できます。興味のある会社を何百もの会社から選ぶのはとても大変でしたが、次のステップに進む機会を得るために、エントリーシートまたは履歴書を送信する必要がありました。履歴書が第一次審査を通ったら、あなたの知識とあなたの性格をテストして会社との互換性を確認するためのオンライン試験があります。それを通過した後、やっと面接が行われます。通常面接は1回だけではなく数回あり、それをすべて通過した後内定が得られる形でした。内定一つもらうまでの道のりがとても大変に感じました。



留学生の就活

「日本で就職する上で一番大変だったのは何だと思いますか？」

そのうちの一つは、留学生のための特別な枠組みの中ではなく、私が日本人と競争していたということでした。特に海外事業を行っていない会社において留学生を雇う必要性を感じていないようで、就活において不利に感じました。

「留学生が日本で就職活動をする場合、何に注目すべきだと思いますか、また何かアドバイスはありますか？」

JLPT（日本語能力試験）N1 または N2 を持っているだけでとても有利になると思います。特に私は私の分野のトップ企業を探していたので、N1 を持っていることはほぼ必須であると感じました。もう一つは、外国や海外の企業とつながりのある企業を探することで、外国人としての強みが評価されるので、就職のチャンスが大幅に増えると感じました。最後に、これはアドバイスというほどではありませんが、複数の言語を話すことができることは、日本人学生と比較して非常に大きな利点であるため、それを自分の強み、アピールポイントとして生かすべきだと感じました。

国際交流推進センターのウェブサイト

テクノロジーは時間とともに変化します。今では多くの人がパソコンよりもスマートフォンの方を使っています。個人的には背中を丸めながらパソコン画面を見続けるより、ソファに横になりながらスマホ画面を操作しているほうがリラックスできるように思います。このような様々なユーザーのデバイスに対応するために、佐賀大学と佐賀大学国際交流推進センターのホームページはリニューアルされました。新ホームページはどのデバイスでも簡単に使えるようになっています。スタイリッシュなアイコンで見やすく、あなたが必要な情報を得ることができます。



佐賀大学のホームページには自動で質問に答えるチャットボットもあります。とてもカッコいいと思いませんか！下にスクロールすると、SDG ゴールプロジェクトラボ、Office for Equality, Diversity and Inclusion、大学の美術館のコンテンツなど、特に注目されているコラムの大きなアイコンが表示されます。国際交流推進センターの Web サイトもリニューアルされました（URL：<https://www.irdc.saga-u.ac.jp/en>）。



リニューアル後の佐賀大学国際交流推進センターHP

Web サイトはスクロールベースの Web サイトになりました。サイトに入ると、佐賀大学の国際交流活動の写真を見ることができます。下にスクロールすると、更新されたニュースコンテンツがバナー付きで表示され、各ニュースのコンテンツをすばやく確認できます。ニュースレターへのリンクもこのセクションに掲載されていますので、随時チェックしてみてください。そしてセンターホームページ最下部には、佐賀大学を英語で紹介するビデオが掲載されています。これは、現在佐賀大学に在籍する留学生が心を込めて制作に協力した動画です。ドローンで撮影されたとてもカッコいいシーンもあります。ぜひお見逃しなく！

編集

フアラパー ビームマパット、工学系研究科博士課程2年
 ミヤツトトユーサン、先進健康科学専攻修士2年
 國弘 貴之、教育学部 小中連携教育 中等主免教育 英語専攻4年
 エルビン 隼 隼昂、都市工学専攻修士2年
 ジェフリテッリアーディアンサ、知能情報工学科博士課程1年
 北村 菜さんに特別な感謝を捧げます